



絆 きずな

平成26年1月
第37号
荒川区立南千住第二中学校
校長 齊藤 進

新しい年を迎えて ありがとうを言える一年に

校長 齊藤 進

新年あけましておめでとうございます。冬休み中はとくに大きな事件・事故等もなく生徒の皆さんが元気に登校できたことがなによりです。皆さんにとってこの冬休みはどうだったでしょうか。宿題や部活、家の手伝いで忙しかったかも知れませんが、3年生は進路に向けて勉強などに一生懸命取り組んだのではないのでしょうか。生徒一人一人が充実した冬休みを過ごすことができたことと思います。



さて、私は1月5日に初詣に出かけ、南千住二中の生徒の健やかな成長と学校のさらなる発展を祈念しました。また、今年一年を占うおみくじには謙虚さと感謝の気持ちをもつことの大切さが書かれていました。

感謝を表す言葉は、世界各国にそれぞれありますが、日本ほど感謝を表す言葉が多い国はないと言われています。ジャーマン・インターナショナル代表のルース・ジャーマン白石氏は、感謝の気持ちを表す表現が多い日本の文化について尊敬の念をその著書「日本人が世界に誇れる33のこと」の中で触れています。

なるほど、「ありがとう」「すみません」「恐縮です」「恐れ入ります」「助かりました」「お世話になりました」「ごちそうさまでした」「お疲れ様でした」など、確かに日本には感謝を表す言葉が多いことに気づきます。ルース氏はバスの運転手さんに日本人のお年寄りが「ありがとうございます」と言う光景をよく見かけ、そのたびに感心したそうです。

誰も、「ありがとう」と言われて嫌な気持ちをもつ人はいません。言われればうれしいものです。「ありがとう」ほど美しい日本語はない、という人もいます。「ありがとう」のひと言が人と人をつなぐ潤滑油となり、互いを尊重し合う社会の実現となるのではないのでしょうか。

私自身このことを大切に一年を過ごしたいと思います。みなさんも日々の生活の中で「ありがとう」「ありがとうございます」って言ってみませんか。

今年一年が南千住二中にとって幸多いすばらしい年になりますよう保護者の皆様には一層のご支援をよろしくお願いいたします。

元気に三学期始業式

平成26年1月8日(水)、三学期の始業式が行われました。全学年がそろい、元気に三学期が、そして新しい年がスタートしました。始業式では、あいさつにつづき、退職された栄養士の先生に代わり、新たに赴任された栄養士の先生の紹介、そして校長先生の話に続いて校歌を斉唱しました。



3年生の指揮 伴奏(二学期終業式)



新たな指揮 伴奏で校歌斉唱(三学期始業式)

これまで校歌の指揮・伴奏は3年生の2人が務めていましたが、この始業式から2年生にバトンタッチしました。指揮は2年3組の女子生徒、伴奏は同じく2年3組の男子生徒です。来年の二学期いっぱいまで指揮者・伴奏者を務めます。3年生のお2人、ありがとうございました。2年生のお2人、よろしくお願いします。

校内書き初め展・作品展



3年 プッシュステンド

1月10日(金)から、校内書き初め展および校内作品展が始まりました。書き初めは各学年のフロアに全員の作品が展示されています。また、並行して校内作品展も行っています。作品展は、霜月祭(本校文化祭)以降の各教科や学年の作品を展示しています。

1階ホールには2年生の「地域学習個人新聞」、3年生技術科の「LED行灯」、2階ホールには3年生美術の「プッシュステンド」、3階ホールには2年生美術「ガラスアート」家庭科「ペットボトルケース」、4階ホールには1年美術「木彫鍋敷き」などが展示されています。

書き初め展は1月24日(金)、作品展は1月31日(金)までの予定です。いつでも参観可能ですので、是非学校までおいでください。

3年 LED行灯



1年 書き初めと木彫鍋敷き



2年 地域学習新聞



セーフティ教室

12月14日(土)の土曜授業公開日の3校時に、セーフティ教室を実施しました。南千住警察の方にご来校いただき、携帯電話やiPhone、パソコンなどでインターネットを利用する際の注意点などについてご指導いただきました。

インターネットは大変便利なものですが、安易な気持ちで使い方を誤ったり、悪意をもった書き込みなどは大変危険であることを教えていただきました。情報社会といわれる現代を生きていく上で、重要な内容でした。



映像を見ながら学習

2年生

親子レク大会

セーフティ教室と同日の1,2校時には、2年生PTA学年委員会主催による、第2学年親子レクリエーション大会が行われました。2年生生徒全員と保護者約40名が参加し、ビーチボールバレーを行いました。生徒は各クラスの6つの班がそれぞれチームをつくり、保護者も6チームに分かれて6つのトーナメントで試合を行いました。各トーナメントの順位から優勝は3組生徒、準優勝は保護者という結果でした。結果もさることながら、親子で楽しく元気にレクリエーションを行うことができた、とても有意義な時間でした。



校長先生も飛び入り参加 強(?)なスパイク

南千住地区委員会

凧あげ大会ボランティア

1月12日(日)、毎年恒例になっている南千住地区委員会主催の「新春凧あげ大会」が荒川総合スポーツセンターで行われました。対象は小学生以下の子どもたちが中心ですが、毎年南千住二中学生がボランティアとしてお手伝いしています。この日も2年生2組男子2名、3組男子1名、1年生2組男子1名、3組男子1名の5名が参加してくれました。また校長先生と2人の先生も参加しました。

凧づくりに必要な物品を用意したり、凧づくりの指導を買って出て、グラウンドには子どもたちの楽しげな声があふれました。地区委員会の方からも感謝とねぎらいの言葉をいただきました。



凧づくりのお手伝い



参加者がそろうって

12/28朝、放映される

NHK朝の番組「おはよう日本」の中で南千住二中の「片目の大緋鯉」が紹介されました。12月20日(金)にNHKのスタッフが来校し、2年生のプロジェクトメンバーと担ぎ手を中心に取材を受けました。

放送内容は南千住に伝わる伝承を取り上げたもので、隅田川の大緋鯉が南千住二中にいるという内容でした。約7分間という長い放送で、担ぎ手の一人である2年1組の男子がインタビューを受ける場面もありました。また、裏に一人一人の願いが書かれた「うろこ」も紹介されました。

取材を受ける



部活動の活躍・文化面・その他の表彰

バレーボール女子【綾瀬杯中学生大会】**優勝** 【荒川区一年生大会】**準優勝**
【ジュニアオープン汐入大会】**準優勝**
バレーボール男子(荒川五中との合同チーム)【江戸川区近隣大会】**第3位**
明るい選挙ポスターコンクール **入選** 1年1組男子
社会を明るくする運動作文コンテスト **学校表彰** 感謝状をいただきました。

南千住マイスターのコーナー

千住宿には神社の他にも、本陣・脇本陣・旅籠・絵馬屋・蕎麦屋などが軒を連ねていた。風のある午後であった。街道沿いにある蕎麦屋のつゆの香が金蔵寺までとどいてきていた。このお寺に祀られていたのは閻魔様であった。閻魔様は一度でいいからあの旨そう汁の蕎麦を食べてみたいと思うようになった。我慢できなくなった閻魔様は、とうとう若い女に化けて蕎麦屋へ出かけた。が、何か変である。女はやたらと千住葱や唐辛子をかけている。他の客が「あんなに唐辛子をぶっかけてりゃ、口の中が地獄みたいになるぞ」と呆れるが、一気に食べ終わって出て行った。それから幾度となくそば屋に来てはたぶりの千住葱と唐辛子をかけるのである。この女はすぐ噂になり蕎麦屋は物見高い客たちでいっぱいになった。客の一人が「何処の女かときとめるよ」と店主に言う。その女のあとをつけると、金蔵寺の閻魔堂の前で立ち止った。そのとき横顔がチラリと見えた。何とその口は目元まで裂け、顔は唐辛子より真っ赤だったのである。「エエマ様だ！おれを迎えに来たんだ！」店主は店に帰って、泣きながら寝込んでしまった。そこへさっきの客がやって来て、「お迎えを断るにや、蕎麦をお供えするしかねえぞ」といわれ「なるほど」と思った店主は、翌日から閻魔堂に蕎麦をお供えするようになった。すると閻魔様も安堵したのが店に来なくなった。そんな話が宿場町の遊女たちに伝わり、いつのまにか彼女たちも閻魔堂に蕎麦をお供えするようになったと。

すみだ川妖怪絵巻 その7
『そば閻魔(えんま)』



協力;
NPO法人
千住すみだ川

金蔵寺 千住上宿(千住大橋を渡った北千住側)にあるお寺。
毎年1月16日と7月16日は、「地獄の釜の蓋が開く」といわれる閻魔様の祭日。